

栗東歴史民俗博物館 ミニ展示

# 豊臣政権を支えた栗太武士

みやぎとよもり

## 宮城豊盛



宮城家の家紋  
丸に向かい揚羽蝶

右上 宮城豊盛像 寛永 11 年(1634) 栗東歴史民俗博物館蔵

左上 宮城豊盛書状「宮木丹波守(花押)」部分  
京都市指定有形文化財 永運院文書 京都市歴史資料館蔵

会期 7月18日(土)～8月30日(日)

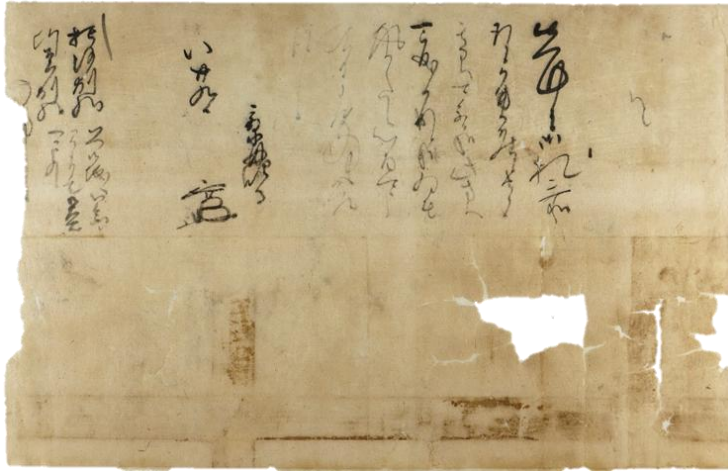
※休館日…7月21日(火)・27日(月)・8月3日(月)・10日(月)・12日(水)  
8月17日(月)・24日(月)

開館時間：9時30分～17時(最終入館：16時30分)

会場：栗東歴史民俗博物館第1展示室

入館料：無料

主催：栗東市教育委員会(所管：栗東歴史民俗博物館)



◀宮城豊盛書状 朽木元綱・竹中隆重宛

年未詳 8月29日

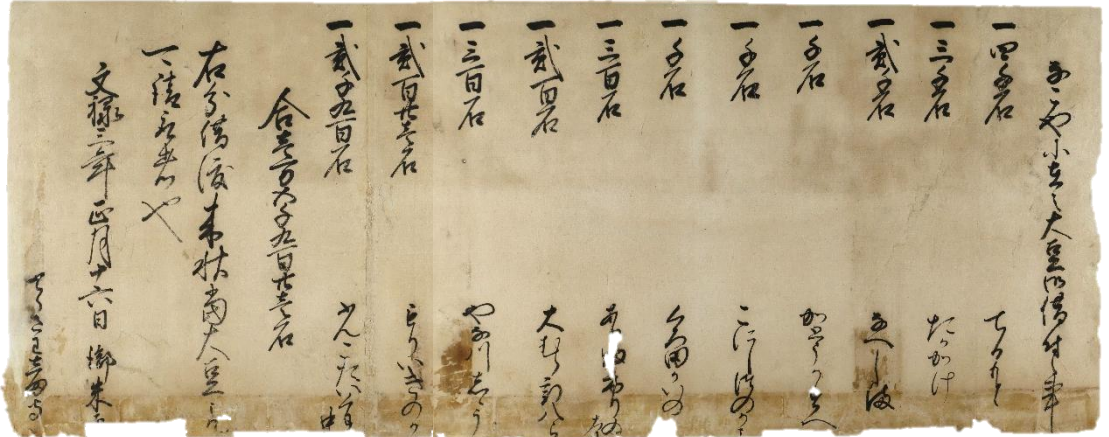
京都市指定有形文化財 永運院文書

京都市歴史資料館蔵

▼豊臣秀吉朱印状写 寺沢広高宛

文禄3年(1594)正月16日

同上



宮城豊盛は、現在の栗東市域の大橋や手原・東坂周辺地域で勢力を誇った武士宮城家の出身で、豊臣秀吉に仕え、豊臣政権の官僚として出世した武将です。太閤検地の奉行人をはじめ、紀州から四国・九州平定へと続く秀吉の統一戦争における兵糧米輸送、豊後国(大分県)蔵入り地の代官、朝鮮出兵の際の対馬での後方支援など、石田三成や長束正家らとともに民政と軍政の担当者として実力を発揮しました。秀吉の没後には、朝鮮半島にいる軍隊に撤退命令を伝える使者として渡海しています。本展示では、宮城豊盛の肖像画や、自筆の手紙をはじめとした当時の古文書、東坂の阿弥陀寺墓所出土遺物などから、その事蹟を紹介します。

同時開催！ ロビー展示 「市制施行25周年・栗東市のあゆみ」

平成13年10月1日、全国で進められた自治体再編の動きに足並みを揃え、人口5万7千余、滋賀県で8番目の市として栗東市は誕生しました。それから今日まで、さまざまな社会情勢の変化やコロナ禍などの災害を乗り越え、栗東市は7万余の人口を擁するまちに成長しています。市制施行25周年を迎える栗東市が市民とともに歩んできた平成から令和の足跡を、写真パネルを中心に紹介します。



開市式のテープカットの様子

# 栗東歴史民俗博物館

会場 滋賀県栗東市小野 223-8

休館日 7月21日(火)・27日(月)・8月3日(月)・10日(月)  
8月12日(水)・17日(月)・24日(月)

お問合せ 電話 077-554-2733 FAX077-554-2755



栗東歴史民俗博物館  
ホームページ